

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1071	6	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	本町通等活性化事業資金融資事業
財務会計上の事業名	本町通等活性化事業資金融資事業
事業の対象(誰(何)を)	指定地域に新規出店する事業者
事業の手段(どうする(させる)ことで)	対象者に対して新規出店に必要な事業資金の融資を斡旋する。
事業の目的(どのような結果を得るか)	融資斡旋により新規出店を支援し、促進させるとともに地域の発展と振興を推進し、まちの活性化に寄与する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成18年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市本町通等活性化事業資金貸付規則

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度(決算)		21年度(決算)		22年度(決算)		23年度(予算)		H22/H21
		事業費(千円)	319		0		0		240	
内訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	正職員	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	1,411		820		800		1,040		97.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	1,411		820		800		1,040		97.6%

指標値	区分	内容	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(予定)	目標値(H23)
				成果指標(1)	商業の振興			
	成果指標(2)							
D	活動指標(1)	融資貸付件数	件	0	0	0		1
	活動指標(2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する23年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	1件の上限額が高額であるので、指定地域内に新規出店する事業者にとっては有効な支援策であるといえる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	上限が高額なので、1回につき返済額も必然的に高額となり、新規で出店した事業者にとって将来の見通しが明るくないと厳しい状態になるといえる。しかし、新規出店希望者には好条件であり、広報等で周知を強化する時期には利用相談が増加する。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
既存の事業者にとっても厳しい状態が続いている中で、基盤の弱い新規に出店をする事業者にとって緻密な事業計画と資金繰りが最も重要な問題である。	高額融資となるとその分確かな事業計画が必須であり、審査での判断は大きな役割を担うことになる。新規出店事業者の計画実現性を踏まえたうえで、指定地域への出店を促進できるようにする。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4405
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1072	10	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	商工業団体補助事業
財務会計上の事業名	商工業団体補助事業
事業の対象(誰(何)を)	池田商工会議所(商工会議所法に基づく公益法人)、池田市商店会連合会・池田市市場会連合会・池田市工業振興会
事業の手段(どうする(させる)ことで)	商工会議所を補助し、各連合会及び振興会を助成する
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内商工業者の経営の合理化・近代化を促進し、商工業の振興と活性化を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和27年度～(商工会議所) 昭和34年度～(その他) <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度～平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市商工業団体補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		2,529		2,529		2,000		2,000	
内訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	正職員	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	3,621		3,349		2,800		2,800		83.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	3,621		3,349		2,800		2,800		83.6%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
		成果指標(1)	商工業者の経営合理化及び近代化					
	成果指標(2)							
D	活動指標(1)	商工会議所会員数	件	1,387	1,334	1,312		1,334
	活動指標(2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	2,611	2,510	2,134		85.0%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	毎年定額の運営補助を行っているが、補助金額の算定根拠が不明瞭である。また、補助金の使途及びそこから得られる効果を明確に把握できない。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	補助金額の精査を継続する。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	4345
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1072	1	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	商工業関係者表彰
財務会計上の事業名	商工業関係者表彰
事業の対象(誰(何)を)	市内に所在する中小企業者及びその事業所に勤務する従業者
事業の手段(どうする(させる)ことで)	池田商工会議所と共催で対象者を審査し、該当する者を表彰する。
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内の優良商工業者及び従業員を表彰することで商工業者及び従業員の勤務意欲や資質の向上、能率の増進を図り、商工業の発展と地域産業の振興を推進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成13年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成20年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市長および池田商工会議所会頭連名による商工業関係者表彰実施要領

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		203		193		158		150	
内訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.14人	896	0.14人	876	0.14人	880	97.8%
	正職員	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0	0.04人	76	0.04人	76	0.04人	80	100.0%
	支出合計 A	1,295		1,089		1,034		1,030		94.9%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	1,295		1,089		1,034		1,030		94.9%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
	D	成果指標 (1)	商工業関係者の勤労意欲、知識の向上	名	70	81	36	
成果指標 (2)			回/年	1	1	1		1
活動指標 (1)		商工業関係者の顕彰	名	70	81	36		30
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	18,500	13,444	28,722		213.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	毎年行われている表彰式だが、22年度に表彰者数の見直しを行ったことにより表彰の価値があがった。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特記事項なし。	この表彰を受けることが、市内商工業者の一つのモチベーションを上げる要素になっていると感じる。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1072	3	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	中小企業事業資金保証料補助事業
財務会計上の事業名	中小企業事業資金保証料補助事業
事業の対象(誰(何)を)	平成19年9月末までに池田市制度融資を申込み、貸付を受けた者で、約定どおりに完済した者
事業の手段(どうする(させる)ことで)	貸付実行時に利用者の支払う保証料を完済後50%補助する
事業の目的(どのような結果を得るか)	大阪府中小企業信用保証協会の信用保証付である池田市制度融資の活用を促進し、市内中小企業者の発展と近代化を推進し、経営の安定化を目的を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成17年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市中小企業事業資金貸付規則、池田市無担保無保証人事業資金貸付規則、池田市中小企業融資制度に係る保証料補助金交付運用

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		585		1,168		951		
内訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.13人	877	0.13人	857	0.13人	860	97.7%
	正職員	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0	0.03人	57	0.03人	57	0.03人	60	100.0%
	支出合計 A		1,677		2,045		1,808		1,648	88.4%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		1,677		2,045		1,808		1,648	88.4%

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	池田市制度融資の預託額	千円	279,000	208,400	175,200		225,400
	成果指標 (2)							
	活動指標 (1)	融資完済件数	件	20	40	20		22
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	83,850	51,125	90,400		176.8%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	完済者本人からの申請で補助するものだが、本人からの申請はほとんどないため完済した事業主にとって融資申込みに影響があるが不明だが、連絡後申請した完済者の反応としては有益なものといえる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特記事項なし	平成19年度の制度改正に伴い補助制度は廃止となったが、その後融資制度の案内の際に廃止の旨伝えても制度利用に影響があるとは見受けられない。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	現時点で改正後の制度に保証料の補助がないことが案内に支障をきたすことはないが、平成24年に該当者が全て完済となるに当たり、今後も借り換えの希望者も出てくると考えられる。保証料補助の制度を記憶している利用者がいる場合は特に漏れなく説明することを徹底しなければならない。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4395
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1072	4	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	商工業経営者等育成事業
財務会計上の事業名	商工業経営者等育成事業
事業の対象(誰(何)を)	市内に所在する中小企業者及びその従業者又は創業希望者等
事業の手段(どうする(させる)ことで)	ビジネスセミナー及び創業支援セミナー等の開催、企業育成室の入居者審査会を行う。
事業の目的(どのような結果を得るか)	社会情勢に対応できるよう経営体質の強化や将来展望を見据えた対象者に有用なセミナーを開催し経営者等の育成を促進する。また、池田市企業育成室の入居者を審査し、基盤整備の支援をすることで市内で発展を望める入居者を選定する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成2年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業 コスト 等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)	55		49		4		23		8.2%
	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
内 訳	正職員	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	1,147		869		804		823		92.5%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	1,147		869		804		823		92.5%

指標 値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	経営知識、創業知識の向上	人					
	成果指標 (2)	知的財産相談	人		2			1
	活動指標 (1)	各種セミナーカリキュラム数	回	1				
	活動指標 (2)	企業育成室入居者審査会実施回数	回	2	3			1

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,147,000				-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	市内産業の活性化を目指し、セミナーの題材を検討するので、中小企業者や創業者の発展に資する支援策として有効である。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
知的財産相談の講師料も当該事業に含むようになった。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	限られた予算の中で、知的財産相談を行いながら、セミナーカリキュラムを組むことが非常に難しい。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4400
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1072	5	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	商業活動活性化事業
財務会計上の事業名	商業活動活性化事業
事業の対象(誰(何)を)	池田商工会議所、池田市商店会連合会、池田市市場会連合会、池田市工業振興会、その他市長が必要と認める団体
事業の手段(どうする(させる)ことで)	対象団体の実施するイベント事業に対する補助
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内商業団体の実施するイベント事業「商業祭」を支援し、市内商業の活性化と地域振興を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成12年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市商業活動活性化事業補助金交付要領

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		1,800		1,500		1,400		1,400	93.3%
内訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	正職員	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		2,892		2,320		2,200		2,200	94.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		2,892		2,320		2,200		2,200	94.8%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
		成果指標 (1)	商業活性化と地域振興					
	成果指標 (2)	売上額	千円	4,750	3,127	2,917		2,773
D	活動指標 (1)	出店数	店	22	20	24		20
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	131,455	116,000	91,667		79.0%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	地域に根付いたイベントとして市民に認知されており、広く商業者をPRしている。商業振興及び地域活性化に大きく寄与するものである。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	平成20年度より池田のメイン会場を池田駅前てるてる広場にしたことにより、会場付近の商店会と連携をとることができやすくなった。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	池田商工会議所が事務局の事業であるが、補助申請の手続き等を再認識し、厳格な補助を行う必要がある。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () 財務会計上の短縮番号 4425
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1072 7 担当部課名 市民生活部地域活性課 担当課長名 岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	商業活性化イベント及び空き店舗対策事業
財務会計上の事業名	商業活性化イベント及び空き店舗対策事業
事業の対象(誰(何)を)	市内商業団体等
事業の手段[どうする(させる)ことで]	市内商業団体等が商業の活性化を目的としたイベントや魅力ある商店街づくりを目的に行う調査研究活動、また、空き店舗及び空地等を活用する事業に対して経費の一部を助成する。
事業の目的[どのような結果を得るか]	地域の魅力創造・向上及び地域商業の活性化を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成12年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市商業活性化イベント事業補助金交付要綱、池田市空き店舗等活用推進事業補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	200		0		150		150	
内訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.00人	0	0.09人	720	0.09人	720	-
	正職員	0.13人	1,092	0.00人	0	0.09人	720	0.09人	720	-
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	1,292		0		870		870		-
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	1,292		0		870		870		-

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	地域商業の振興						
	成果指標 (2)							
	活動指標 (1)	事業実施団体数	団体	2	0	1		1
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	646,000		870,000		-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	実施団体が固定されている実情では真の商工振興が達成できているか不明であるが、現在補助している団体の事業については継続できるよう補助が必要。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニース・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	実施団体が固定されている状態であるが、現状の予算の範囲で複数団体への補助は苦しい。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4430
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1072	8	担当部課名 担当課長名	市民生活部地域活性課 岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	中小企業事業資金融資預託事業
財務会計上の事業名	中小企業事業資金融資預託事業
事業の対象【誰(何)を】	池田市中小企業融資制度取扱金融機関(融資対象者は市内で6ヶ月以上同一事業を営んでいる中小企業者)
事業の手段【どうする(させる)ことで】	池田市制度融資の貸付原資を取扱金融機関に預託する
事業の目的【どのような結果を得るか】	長期化する不況に対応するために事業主が必要な資金を低利で斡旋し、中小企業の経営の安定と商工業の発展に努める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成17年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成19年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市中小企業事業資金貸付規則、池田市無担保無保証人事業資金貸付規則、池田市中小企業融資制度要綱(大阪府 市町村連携型融資制度)、大阪府中小企業融資制度要綱・要領

2 事業コスト・指標値の推移

事業 コスト 等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		279,000		191,700		206,600		
内 訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.25人	1,735	0.23人	1,657	0.23人	1,660	95.5%
	正職員	0.13人	1,092	0.20人	1,640	0.20人	1,600	0.20人	1,600	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0	0.05人	95	0.03人	57	0.03人	60	60.0%
	支出合計 A		280,092		193,435		208,257		216,860	107.7%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		280,092		193,435		208,257		216,860	107.7%

指標 値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	低金利での貸付	%	1.1	1.1	1.1		1.1
	成果指標 (2)							
	活動指標 (1)	取扱金融機関	行	7	7	7		7
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	40,013,143	27,633,571	29,751,000		107.7%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	新制度(大阪府との連携型)となった後、改定により旧制度に近い利率となり、昨今の不況下で市内中小企業者にとって利用しやすい制度となったといえる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	相談者への制度案内の際、大阪府制度・市制度を紹介するが、貸付期間が短い点はあるが、利率に0.5%の差があることは融資希望額の大きくない中小企業者には大きな利点であると見受けられる。
	これらを踏まえた懸案事項、問題点等 H20.10.31より緊急経営対策事業資金が継続しており、同資金利用者が急増。金融機関での相談者は主にそちらを受ける傾向がある。今後市制度利用者がどのように推移するか注視する必要がある。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4428
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1073	1	1	担当部課名 市民生活部地域活性課
				担当課長名 岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	いけだピアまるセンター管理事業
財務会計上の事業名	いけだピアまるセンター管理事業
事業の対象(誰(何)を)	中小企業者及び創業予定者
事業の手段(どうする(させる)ことで)	いけだピアまるセンター管理委託及び池田市企業育成室企画運営委託
事業の目的(どのような結果を得るか)	民間事業者及び創業予定者に安価で育成室を貸し出し、経営・技術相談や異業種間交流等のサポートを入居者に行うことで本市産業の創出・育成及び新産業の創出を図り、地域活性化を推進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成12年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		8,046		8,048		5,550		
内訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	正職員	0.13人	1,092	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			9,138		8,868		6,350		6,850	71.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		9,138		8,868		6,350		6,850	71.6%

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標	成果指標 (1)	創業支援及び起業促進	者(社)				
		成果指標 (2)						
	活動指標	活動指標 (1)	入居者数	者(社)	7	8	8	7
		活動指標 (2)						

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,305,429	1,108,500	793,750		71.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	退去後の元入居者が市内で事業展開するなど本市の産業振興に寄与している。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これを踏まえた懸案事項、問題点等
	当該施設の賃料が安く、経費節減に有効であるようだ。平成23年9月末現在、育成室は満室である。
	建物に見受けられる老朽化している箇所の修繕等行う必要があり、平成21年度より本格導入したインキュベーターマネージャー(IM)との連携方法も検討しなければならない。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4438
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1073	1	2	担当部課名 市民生活部地域活性課
				担当課長名 岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	まちづくり活性化支援事業
財務会計上の事業名	まちづくり活性化支援事業
事業の対象(誰(何)を)	本市での新たなまちづくりの展開若しくは活動の支援に繋がり、市長が必要と認める事業の実施団体
事業の手段[どうする(させる)ことで]	まちづくり推進事業の補助
事業の目的[どのような結果を得るか]	新たなまちづくりの展開及び市民主導型のまちづくり推進事業を促進し、本市商工業と地域の活性化を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成12年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市まちづくり・活性化推進事業補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		200		0		0		150	
内訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,092	0.00人	0	0.09人	720	0.09人	720	-
	正職員	0.13人	1,092	0.00人	0	0.09人	720	0.09人	720	-
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	1,292		0		720		870		-
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	1,292		0		720		870		-

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	地域のコミュニティと経済の連動					
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		委託及び補助事業実施団体	団体数	1	0	0		1
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,292,000				-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	金額に変動があるが、対象者には有効な制度である。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
事業内容に変化はないが、予算額の見直しが毎年行われている。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	4437
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1073	3	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	事始め奨励事業
財務会計上の事業名	事始め奨励事業
事業の対象(誰(何)を)	本市に住所又は事業所を有し、新技術・新製品の開発等により産業振興への貢献が期待される者
事業の手段[どうする(させる)ことで]	事始め奨励大賞への応募者の審査会を開催、受賞者を顕彰し賞金を授与する。
事業の目的[どのような結果を得るか]	対象者への顕彰・賞金の授与により新技術・新製品の開発意欲を向上させ、本市産業振興の推進及びベンチャー育成を図る。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input checked="" type="checkbox"/> 時限 平成14年度～基金残高がなくなるまで
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市事始め奨励基金条例、同条施行規則、事始め奨励にかかる報償に関する要綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	36		644		51		1,651	
内訳	人件費(人・千円)	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	-
	正職員		0		0		0		0	-
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	36		644		51		1,651	7.9%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	36		644		51		1,651	7.9%	

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	市民の創業意識の創出(応募者数)	名	2	9	3		6
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	受賞者数	名	0	3	0		4
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円		214,667			#VALUE!
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 (担当課)	審査会での応募者の様子等から研究・開発等している者には有効であると捉えられる。
---	---	----------------	---

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
事業内容に変化はないが、応募者数が減。	応募してくる事業者に関してはプレゼン等で意気込みが感じられるため、新技術・新製品を開発する対象者にとって良い刺激があると思われる。また、H22に今までの応募者を対象にアンケートを実施し、受賞者にはこの賞が有効である結果を得た。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	応募者数が減ったことから、募集の周知方法の再考

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () 財務会計上の短縮番号 4405
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1071 1 担当部課名 市民生活部地域活性課
	担当課長名 岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	商業の活性化
第3期実施計画の事業名	中心市街地活性化対策事業
財務会計上の事業名	中心市街地活性化対策事業
事業の対象(誰(何)を)	いけだサンシー株式会社、商業の活性化に関わる者、学生
事業の手段[どうする(させる)ことで]	旧中心市街地活性化法に基づき作成された基本計画、TMO構想等の中で中心市街地活性化に寄与する事業を推進するために、本市まちづくり会社である「いけだサンシー株式会社」等を支援する。また、平成21年度より石橋・池田両地区の学生による商店街空き店舗活用事業を補助する。
事業の目的[どのような結果を得るか]	地域経済及び社会の発展に重要となる中心市街地及び商店街の活性化を支援することで、都市機能の増進及び経済活力の向上を一体的に推進し、生活の向上及び経済の発展を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成12年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市中心市街地推進事業補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	5,500	8,945	10,226	8,426	114.3%			
内訳	人件費(人・千円)	0.14人	1,176	0.11人	902	0.10人	800	0.10人	800	88.7%
	正職員	0.14人	1,176	0.11人	902	0.10人	800	0.10人	800	88.7%
	再任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	アルバイト	0	0	0	0	0	0	0	0	-
財源	支出合計 A	6,676	9,847	11,026	9,226	112.0%				
	国・府支出金					-				
	受益者負担 B					-				
	その他財源					-				
	一般財源 C	6,676	9,847	11,026	9,226	112.0%				

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	都市機能の増進及び経済活力の向上						
	成果指標 (2)							
	活動指標 (1)	事業支援	回	3	5	5		5
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	2,225,333	1,969,400	2,205,200		112.0%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	池田ブランド構築事業の中心となる参加店が増加し、イベントへの参加者数も持続している。また、学生の空き店舗活用事業も順調に進められている。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
平成21年度に引き続き、中心市街地活性化対策事業への補助に加え、学生による商店街空き店舗活用事業への補助も行い、市内商店街を中心とした活性化を推進した。	学生の空き店舗活用事業については、認知度が上がってきている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	池田ブランドの参加店の収益につながるヒット商品の開発が必要。